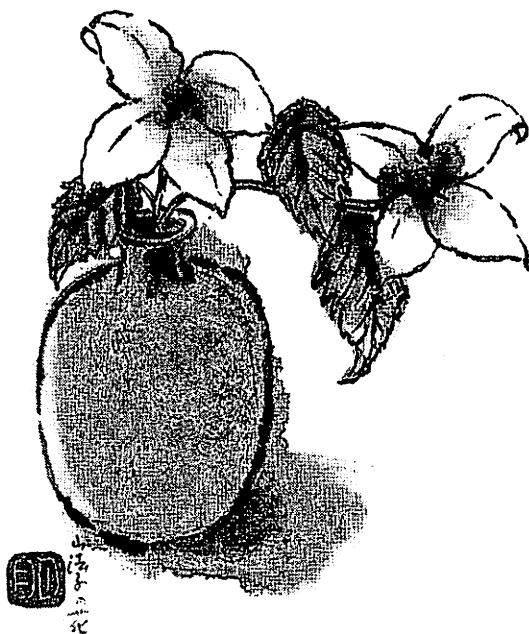


緊急小特集

—新潟県中越大震災—



## 中越大震災について謹んでお見舞い申し上げます

にいがた県民教育研究所

このたびの中越における直下地震の甚大さにたじろいでしまいます。破壊の大きさを直接聞いても、テレビの報道を見ても、心が痛みます。被災者には研究所の会員がたくさんおられます。謹んでお見舞い申し上げます。

強い余震が続くなか、毎日毎日が怖さと不安でお過ごしのことと思うと、心配でなりません。これからどのようにして、いつもとの生活を取り戻せるのか、とりわけ、差し迫った豪雪地の冬をどのように乗り越えるのか、政府や行政はその辺のことをわきまえているのか、など、心配で言葉になりません。

また、被災した子どもたちはどうしているだろう。学校はいつもと通りになるのか。

研究所として継続的に直接支援するには、いかにも非力で、なんとも心苦しいのですが、研究所らしい支援のための参加の仕方を考えてみました。

それは震災復興をとくに教育の面から考察することによって、少しでも意味のある問題提起ができるように、また、問題点を掘り下げて、会員だけでなく県民といっしょに考えていけるようにやってみることだと思えます。

くれぐれもお体を大切になさってください。